

human

No260

2013/12

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「手作り作品(デイケアセンター御嶽にて)」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (0587)95-8900
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail:info@ijinkai.or.jp

米国泌尿器科学会総会に参加して

さくら総合病院 腎尿路疾患センター 藤井泰普

第108回米国泌尿器科学会総会が、2013年5月4日～5月9日、カリフォルニア州サンディエゴで開催されました。サンディエゴはロサンゼルスから南へ約160km、メキシコ国境に接しており、「カリフォルニア発祥の地」とも呼ばれています。また、気候は年間を通じて温暖で湿度も低く、5月ともなると降水量はほとんどないといわれています。今回の学会期間中は、雨の日もあり予備で持参した折りたたみ傘が役に立つということもありましたが、気候通り

ほとんどが晴天で快適に過ごすことができました。

さて、この学会は泌尿器科学会の中でも規模が最大で、米国はもとより南米、ヨーロッパ、アジア、アフリカの泌尿器科医が一同に集まり、臨床研究(日常的な医療から最先端の医療まで)と臨床応用を旨とする基礎研究について討論する学会です。学会会場は市内最大のコンベンションセンターで行われました。今年的一般演題は約2,200演題あり、日本からも多数の演題が採択されていました。私は学会場に5月5日

午後に入り、受付を終え、米国泌尿器科学会総会の歓迎パーティーから参加しました。歓迎パーティーは、学会場からほど近い米国ミッドウエー博物館で行われました。ここは、航空母艦(ミッドウエー)そのものが博物館となっており、かつて横須賀基地を母港としていたことがあるそうです。日本人としてはミッドウエーと聞くと第2次世界大戦の海戦の方を記憶する方が多いですが…。会場は、艦内と飛行甲板にわかれ、もう飛び立つこともない艦載機が数多く展示され

ていました。艦内では操縦アトラクション、飛行甲板では楽器の生演奏が行われていました。さらに、会場の至る所に日本の海上自衛隊の正装でもあるセーラー服(アメリカ海軍の本物の正装なのは知りませんが)をきた男女のカップルが歩き、写真撮影には行列ができていてパーティーに華を添えていました。私自身は、パーティーの華やかさの反面、翌日から控えた学会への参加と発表に、より一層緊張感ができました。

米国泌尿器科学会総会では例年、早朝(6時台)から様々なプログラムや教育コース、発表(口演、ポスター、ビデオ)があり、どの会場も満員となるほどの盛況ぶりでした。特

に、最先端医療機器を用いた手術やロボット手術については活発な討論が行われていました。さて、私自身の発表ですが、「尿路結石：Evaluation & medical management」の会場での口演でした。テーマは、尿管上皮細胞と脂肪細胞の共培養による結石関連遺伝子のパラクライン評価を、

“Elucidation of metabolic related parameters by co-culturing renal tubular cells and adipocytes”
として発表しました。簡単にいうとメタボリックシンドロームと尿路結石

の関連について遺伝子を調べましたというものです。最終日の10:30からの発表で帰郷もしくは帰国されている先生方も多く、質問、討論はあまりされないのでは？と心配(安心)していましたがその必要もないぐらい会場内は賑わっていました。質問は、研究方法に関するのと、今後の展望についての2点で、典型的な英語ができない日本人である私でも何とか無事に答えることができました(もちろん質疑応答に対する返事は事前に準備していました)。米国泌尿器科学会総会の最後の締めであるTalk show message, においては泌尿器科における各分野の新しい知見、興味深い発表を次々に紹介されていました。

中でも、いくつかの日本の先生方の発表が取り上げられており、質の高い内容に私も非常に刺激を受けました。

最終日は帰国するのみでしたが、前日に同医局の先生方が、サンディエゴ発でロサンゼルス着の旅客機がロサンゼルス空港で強風のため着陸時間がおくれ、日常業務のため少しでも早く日本へ帰るためにフイリピン(マニラ)経由で帰国したという話も聞いており、同ルートで帰国する私も内心どきどきしていました。幸いにもトラブルなく帰国できました。

今回、このような大きな国際学会に参加することができ、公用語としての英語の重要さを心底感じました。今年は何とか質疑応答できたものの、さら

に深みのある討論をすることもなく不完全燃焼に終わったという印象があります。今後も臨床と基礎研究に精進し、参加・発表するだけで精一杯になるのではなく他国の泌尿器科医と交流し、議論を重ねることが自分のレベルアップにつながるのだろうと感じました。また、国際学会で得た知見を日常診療で生かすことが重要だと思いました。

最後に、発表があるとはいえ、多数のご迷惑をおかけした患者様方と出張を許可していただいた院長先生をはじめ、病院スタッフの方々はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



外科医長 たらお 多羅尾 光

初めまして。11月より常勤外科医として皆さんと一緒に勤務させて頂いております多羅尾と申します。これから宜しくお願いいたします。さて着任早々Humanへの寄稿を仰せつかりましたので、趣味の天体観測(望遠鏡の覗き方)につき書くことにします。

夜空に輝く無数の星の多くは太陽のように自ら輝く恒星と呼ばれ、牽牛、織姫、北極星など有名です。が、望遠鏡で視てもタダの点。中には僅かですが、点でなく淡いもやのように見える星があります。星雲・星団や彗星です。青や緑、赤いガスが渦巻くハッブル望遠鏡からの美しい映像を観たことありますよね。また、彗星がくると話題となり望遠鏡がよく売れます。で、売れた望遠鏡はどうなるか。月のルーターと土星の輪ぐらいで高額な望遠鏡もあとは点々の世界。どこに美しい星雲が…飽きますね。望遠鏡を覗いて何か楽しい?(地上観測は禁)、となり物置行き。実際、恒星や惑星以外の天体は初心者には難しく(特に色)、写真でしか観られませんが天体写真となると追加投資>車の問題が立ちはだかります。

そこで一つコツをお教えします。コツさえ掴めば、双眼鏡でも幾つかの星団・星雲や彗星を視られますし(写真には負けますが)、口径25cm(5万円~)なら色彩もわかります。そのコツ、「じっとよく視ろ、目を逸らせ」です。ハア?

医学的に説明しますと、視覚は網膜(眼の底)にある視細胞というセンサーが外からの光を受けることで起こります。視細胞には杆体細胞と錐体細胞があり、前者は白黒ですが暗くてもよく感知し(暗視)、後者は暗いと反応が悪いですが色彩を感知します。そして大事なことは、瞳の中心には錐体細胞が、その周りには杆体細胞が分布することです。恒星以外の淡い天体では望遠鏡を覗く際、視線(瞳の中心)で真っ直ぐ視ると光量不足で錐体細胞が働かず何も見えません。そこで視線を鼻側に逸らすと、感度の良い杆体細胞が動き白黒の淡いもやが見え出します。数秒後、周囲の杆体細胞も刺激され白黒のコントラストが強くなります。次に徐々に望遠鏡中心に視線を移します(決して中心を見てはいけません)。視線が杆体・円錐細胞境界近くに来ると、杆体細胞に刺激され円錐細胞が反応し、ゆっくりと色(蛍光緑~赤)が現れます(暗順応)。これが、「よく視ろ、目を逸らせ」という意味で、理解して頂けたか。

もし眠っている望遠鏡があればもう一度覗いてみてください。時には視点を変えて視ることも大切ということです。それでは宜しくお願いします。



看護部3A病棟師長 影山 裕子

この度、10月11日付で3A病棟の師長に任命されました影山裕子と申します。さくら総合病院に勤務し、約2年半になります。3A病棟は脳神経外科・消化器病センター、口腔外科を中心とした外科系の病棟となります。手術を目的とした入院が多く、動きの激しい病棟ですが、患者さんとスタッフのコミュニケーションを大切にして業務に従事しています。

看護師として働いて嬉しいことは、患者さんから温かいお言葉をかけて頂けることです。また患者さんから「看護婦さん」ではなく名前でご呼んで頂けるととても嬉しく思います。多くの患者様に声をかけて頂けるよう、また入院されている患者さんが安全に、安心して入院生活が送れるよう精神一統頑張りますので御指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い致します。



看護部3A病棟主任 堀下 由郁

3A病棟の堀下由郁といいます。私がさくら総合病院で働き始めて、一年半になろうとしています。この一年半の間に色々なことがありました。この病医院で働き始めてからは「看脚下 足下をみる」ということばを心に留めるようにしています。

私が看護師になろうと大学を卒業して十年が経ちます。その間に医療は確実に進歩し、必要とされる知識は多くなりました。

しかし、私が今まで働いてきた総合病院でも、保健所でも、訪問看護でも私たちの行うことは変わらず、必要とされているスキルも大きく変化がないように感じます。大切なのは患者様とどうかかわるかにあります。

私の今まで歩いてきた道の中に看護の本質があり、今後もそれは変わらないと思っています。迷うこともありますが、足下を見、私らしく看護を行っていきたく思います。

さくら荘でのリハビリテーション

さくら総合福祉センター さくら荘 理学療法士 可児 達也

私はさくら総合病院で2年の勤務を経験し、その後さくら荘に転属となり3年が過ぎようとしています。

さくら荘でリハビリテーションを行っている方は病気を発症した後、医療機関にて治療を行い、状態が安定した方が多く、一般的に状態が大きく改善することは難しいといわれています。その方々に対して私たちは、能力の維持にとどまらず、向上を図ることを目指しています。そのために人員の面では理学療法士、作業療法士合わせて6名配置されています。設備の面では、自転車や足首の動きを改善させる器具など病院にあるものがさくら荘にも備わっており、充実したリハビリテーションが提供できる体制が整っています。その中で、一人一人に合わせた目標設定、訓練プログラム立案を行い、適切な負荷量での運動療法を積極的に取り組んでいます。加えて、リハビリテーション以外の時間を有効活用していただけるような自主訓練を積極的に促し、身体機能や日常生活動作能力の向上を図るために支援しています。他にも自宅訪問し本人や家族の訴えを聞き、問題点に対して、他職種と連携し、介助方法の検討や福祉器具導入のアドバイスを行っています。

今後もさくら荘でリハビリテーションを行っている方に効果的なリハビリテーションやアドバイスが提供できるよう励んでいこうと思います。

第30回 「健康を守る教室」

テ マ : 『介護保険について』～介護保険ってどういう仕組み？
&セラバンドを使用した体操

日 時 : 平成25年12月21日 土曜日
13:00～14:00 (受付12:30～)

場 所 : コンドル館1F ロビー

講 師 : 看護師長 栗本 綾子

参 加 料 : 無料

お問合わせ : 受付窓口もしくは医療連携室
Tel 0587-95-0015



皆さん、介護保険のことってわかってみえますか？いざ必要となったらどうしようかと思えますよね。

今回、私自身の母が、入院をして介護保険を使うことになりその経験から、よく聞かれる質問も含めてお話したいと思います。

ご家族、ご近所の方お誘いあわせの上、お気軽にご参加してください。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。
ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

